

取扱説明書

ダラク
DRAK



この度はDRAKヘルメットをご購入頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前に説明書の内容を理解し、その手順に従ってください。
説明書はいつでも参照できるように大切に保管してください。
ヘルメットのケアや使用に関して質問がある場合は販売店に相談してください。
説明書の内容に従わない場合は、事故や重大なケガにつながる恐れがあります。

もくじ

各部名称	5	顎ヒモ	8
ベンチレーション	5	使用の為のアドバイス	9
サイズの選択	6	布地のパーツ	10

安全にお使いいただくために

安全かつ効果的な取り扱いが行えるように、次の見出しを使用しています。
見出しの意味を十分にご理解の上、正しくお使いください。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容。

● シンボルマークの意味

 このマークは禁止の行為であることをあらわします。	 このマークは指示を守ることがをあらわします。
---	--

 警告	
	舗装された道路でのバイク運転にのみ使用してください。 オフロードやスノーモービル、自動車等での使用はしないでください。
	安全運転をお願いします。 このヘルメットは、国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。 重大なケガから最大限に保護をするために、ヘルメットは頭にしっかり固定し、顎ヒモは説明書に書かれている通りにしっかりと締めてください。
	ヘルメットは購入後3年で交換してください。 ヘルメットは、使用する状況により時間経過と共に劣化していきます。ヘルメットに損傷がなくても購入してから3年後に取り換えることを推奨します。 ヘルメットを使用するごとにダメージ又は劣化が無いことをチェックしてください。
	頭のサイズに合ったヘルメットを使用してください。 大きすぎるヘルメットは、走行中にぐらつくため危険です。 小さすぎるヘルメットは、頭を締め付けるため痛くなる場合があります。
	一度でも衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。 衝撃を受けたあとは、外観上損傷がなくてもライナーが変形している場合があります。変形した場合、再度衝撃を受けたときにエネルギーを吸収できず、重大なケガにつながる恐れがあります。

警告



本製品を分解・改造しないでください。
絶対にドリルで穴をあけたり、切ったりしないでください。
改造はヘルメットの強度を著しく弱めます。

注意



ヘルメットは、注意して扱ってください。
ヘルメットの上に座ったり、地面等に落下させたりしないでください。



常に環境の変化に気を配って運転してください。
ヘルメットをかぶっている間は、周囲の音が聞こえ辛くなる、視野が狭くなる、頭部を動かすことが制限される場合があります。
これらの状況の変化に応じてバイクを運転してください。



本製品を廃棄する場合は、各自治体の条例に従ってください。
内容については各自治体にお問い合わせください。



ヘルメットお手入れ時は絶対に石油、石油製品、化学薬品、溶剤を使用しないでください。
絶対に上記の溶剤等のガスにさらさないでください(例えば、バイクの燃料タンクのキャップをヘルメットの上に置くことなど)。ヘルメットに外傷が見られなくても、これらの薬品によってライナーに深刻なダメージを受ける可能性があります。ヘルメットのお手入れ時には、中性洗剤やぬるま湯をつけた柔らかい布を使用してください。



絶対に50℃を超える場所に放置しないでください。
直射日光の当たる場所、夏場の車内や暖房器具の近くなど高温になる場所では保管しないでください。



SGマークはSafe Goods(安全な製品)の略号で、一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造・材質・使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について安全性品質に関するSG基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。



国は消費生活用製品のうち、構造・材質・使用状況から見て、一般消費者の生命又は身体に対して、特に危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品を「特定製品」として指定しております。「特定製品」の製造を行う事業者は国に届け出を行うとともに、国の定める安全水準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品には「PSC」マーク(Product Safety = 製品安全の略号)を表示し、「PSC」マークの表示がされていない「特定製品」の販売を禁じる事としています。

■乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので十分ご注意ください。

一般財団法人製品安全協会/日本ヘルメット工業会

■SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、万ヘルメット(シールド等の付属品は含まない)に欠陥があり、一般財団法人製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レース・サーカス等)に用いている際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

■製品の欠陥による事故がおきた場合は

1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐに一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。TEL(03)-5808-3303
2. 「事故発生届」又は「賠償措置実施請求書」を提出してください。(原則として事故発生より60日以内)
3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうか決定します。

SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2階
一般財団法人製品安全協会 TEL(03)-5808-3303

各部の名称

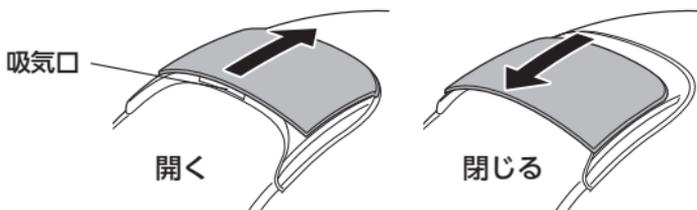


■サイズ

ヘルメットサイズ	頭の外周 (cm)
S	55～56
M	57～58
L	59～60
XL	61～62

ベンチレーション

ヘルメット上部の吸気口から空気が入り、ヘルメット内の換気を行います。吸気口は、空気の吸い込みがより有効になるように設計されています。また、布地のパーツはヘルメット内を快適にする素材を使用しております。



⚠ 注意

- バイクを運転中に動かさないでください。バイクのコントロールを失い、重大なけがにつながる恐れがあります。

サイズの選択

⚠ 警告

- ヘルメットの保護能力には限度があります。このヘルメットは、国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。
- 保護能力を最大限に発揮するため、ヘルメットは頭にしっかり固定し、顎ヒモは説明書に書かれている通りにしっかりと締めてください。ヘルメットが適切に装着されない場合は、事故時にヘルメットが脱げ、重大なケガにつながる恐れがあります。

ヘルメットサイズの選択

ヘルメットは頭部のサイズに一致するように設計されています。

頭のサイズを測定するために、眉の約2.5cm上の頭の外周を巻き尺で計測します。

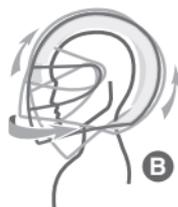
※頭のサイズが2つのサイズの間だった場合は、最初に小さいサイズを試してください。

※新しいヘルメットを使用する場合、以下に記載されているように必ず、頭頂部がヘルメットに当たるように深く被り、ヘルメットの前方部が眉毛の上に当たるように装着し、顎ヒモが正しく装着されていることを確認してください。

1. ヘルメットが頭全体にきちんと合っており、チークパッドが少々きつく感じる必要があります。
もしそうでなければ、大きすぎるため小さいサイズを選んでください。
Aを参照



2. 顎ヒモが装着された状態で、ヘルメットが左右・上下に必要以上に動かないことを確認してください。
頭を左右・上下に動かした際、肌が引っ張られる感覚がある必要があります。
もしそうでなければ、小さいサイズを選んでください。
Bを参照



3. ヘルメットの後部を下から押し上げた際や顎ヒモの部分から押し上げた際にヘルメットが脱げてしまう場合は、小さいサイズを選んでください。

4. 頭を下げ、顎を引いた状態で顎ヒモが胸に当たらないようにしてください。

●Cを参照。



5. 頭を後ろに反った状態で、ヘルメットが背中に当たらないようにしてください。

●Dを参照。



⚠ 警告

- 絶対にヘルメットの中で毛を束ねないでください。また、パッドを入れての位置調整をしないでください。
- ヘルメットのサイズに関して質問がある場合、販売店に連絡してください。
- ヘルメットは時間の経過とともに内装の装着感が変化する可能性があります。上記の確認事項はヘルメットを使用している間は定期的に行ってください。着用感が変化し、サイズ合わなくなった場合、ヘルメットを買い換えてください。

⚠ 注意

- 絶対にヘルメットを他人に貸さないでください。
- サイズの適さないヘルメットは絶対に使用しないでください。

顎ヒモ

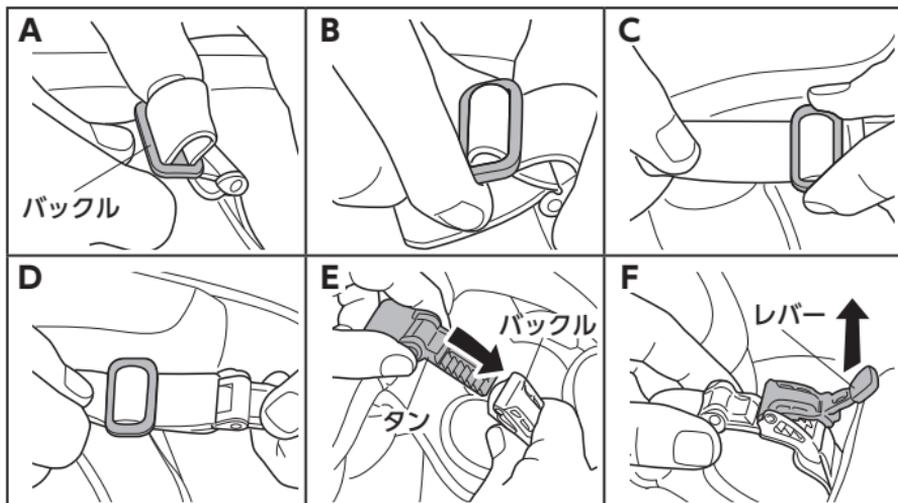
DRAKは、スナップロックタイプのワンタッチバックル式顎ヒモを装備しています。

- ヘルメットの保護能力を最大限に発揮するため、顎ヒモを適切にご使用ください。
- 切断したり、穴を開けたり、ボタンや他のアイテムを付けるなどの改造を行わないでください。
- ヘルメットを使用している間は顎ヒモが切れないようにし、また顎ヒモの長さが変わらないようにしてください。顎ヒモが切れてしまった場合はヘルメットを買い換えてください。

ワンタッチバックル

スナップロックシステムは、切り込み部分での微調整により、正確な調整が可能となっていますが、購入時には自分に合った顎ヒモの長さに調整することが必要です。

顎ヒモの長さを調整する際は、バックルを使用してください。(図A.B.C.D参照)



- スナップロックをした際、顎ヒモが顎の下できちんと伸びた状態で、痛みや不快感なくヘルメットが固定されなければなりません。
- 顎ヒモの装着には、ストラップラダーをバックルに通し、ストラップラダーが張った状態にします。ストラップラダーはバックルに通すと自動的に固定されます(Eを参照)。
- 顎ヒモを外すには、レバーを引っ張り、バックルからストラップラダーを抜きます(Fを参照)。
- 装着毎にストラップラダーでの調整が可能となっておりますが、必ず顎ヒモの長さの確認も同時に行ってください。

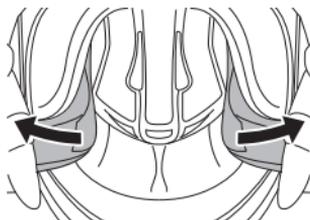
⚠ 注意

- 顎ヒモが緩くなった状態やきつくした状態での走行はしないでください。内装による装着感があっても、ヘルメットが脱げてしまう可能性があります。
- 絶対に潤滑油や酸性物質、油、溶剤などを顎ヒモのバックル部分に付着させないでください。

使用の為のアドバイス

ヘルメットをかぶる

- ① 顎ヒモを取り外したら、頭に被りやすくするため両方のバックルを掴みわずかに外側に広げます。その際に、親指で顎ヒモを外側に広げることで正しい位置を確保できます。
- ② ヘルメットのバージョンや国の推奨に従い、顎ヒモのバックルを正しい位置で留めてください。緩みや痛みを感じる場合は、適切な位置になるよう調整してください。



ヘルメットを脱ぐ

顎ヒモを外します。被ったときと同様に、両方のバックルをわずかに外側に広げヘルメットを外します。

⚠ 注意

- 「顎ヒモを適切に締められない」または「サイズに適さない」ヘルメットは使用しないでください。

布地のパーツ

肌に接触するパーツは、汗を良く吸収する布地で作られており、カビとバクテリアを抑制するために表面処理をしています。

⚠ 注意

- パッドには磨耗や破損の恐れがあります。磨耗の程度はメンテナンス頻度や使用期間、汗の酸度により異なります。
- パッドが破損した場合、フィット感を確認してください。
- 確認後に必要であれば、ヘルメットまたはパッドの交換を行ってください。また、販売店に問い合わせをお願いします。
- ヘルメットを装着する際にはヘルメットの装着感を確認してください。
P6参照(サイズの選択)

お手入れについて

布地のパーツは洗濯が可能です。パーツの損傷を避けるために次の手順に従ってください。

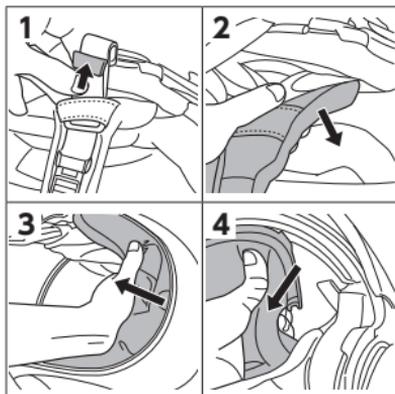
1. 頬パッドとヘッドセクションはぬるま湯または30℃の石鹼水で手洗いします。
※洗淨力の高い洗剤ではなく、薄めた中性洗剤または家庭石鹼を使用してください。
2. パーツをヘルメットに装着する前に布地を完全に乾かしてください。
※室温で自然乾燥してください。ドライヤーやアイロンは絶対に使用しないでください。
3. ヘルメットを使用する前に全ての内部のパーツが乾いていることを確認してください。

⚠ 注意

- 損傷を受けたパッドは、使用しないでください。転倒した際にヘルメットが脱げてしまい重大なケガにつながる恐れがあります。

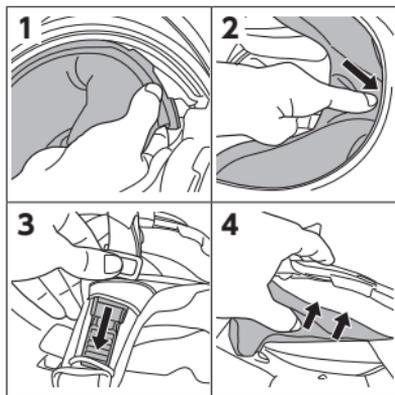
内装の取り外し

1. ヘルメットをひっくり返し、顎ヒモのバックルを外し、チークパッドのループから顎ヒモを外します。
2. 2つのチークパッドを面ファスナーから外します。
3. 内装をしっかり持って、ネックパッドを外してください。終端を引き出し、リアセクションを外します。
4. 片側からヘッドセクション前部のプラスチックタブを外し、ヘルメットから内装を抜き取ります。



内装の組み立て

1. ヘッドセクションの前部のプラスチックタブをハウジングの片側からスライドさせます。
2. ネックパッドの一端をヘルメットの端に差し込み、残りのネックパッドをヘルメットの端の直下を送りこみます。ネックパッドのもう一方をヘルメットのもう一方の端に差し込みます。
3. チークパッドのループに顎ヒモを再び差し込みます。
4. チークパッドの位置をあわせて面ファスナーで留めます。



⚠ 注意

- パッド及びポリスチレンライナーは、ヘルメットを適切に装着するための重要なパーツです。内部パッドの取外しまたは取付けに、ご不明点が御座いましたら販売店にお問い合わせください。
- 絶対にパッドを外した状態でヘルメットを使用しないでください。転倒した際に重大なケガにつながる恐れがあります。

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア



0570-050814

オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）

9:30～12:00 13:00～17:00

◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。

◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

〒437-0061 静岡県袋井市久能 3001-8 FAX. 0538-31-2104

販売元：株式会社ワイズギア
〒437-0061 静岡県袋井市久能 3001-8

総代理店：株式会社LINKS
〒604-8025 京都市中京区下大阪町 349-6 イシズミビル7F

製造元：SFPC Factory : Sociedade Franco Portuguesa de Capacetes, S. A.
Azenha de Cima - Z. I. do Sampaio - Oliveirinha 3430-414 Carregal
do Sal Portugal

Made in PORTUGAL (SFPC Factory)

MM0021.03